

東雲夢通信

東雲中学校校長室通信

文責 校長 渡邊 和彦

平成三十年二月七日発行第十六号

おせつたい



一月二十一日月曜日に毎年恒例の「おせつたい」に参加させて頂きました。本年度始めて、振り替え休業としましたので、平日でしたが、中学生も参加することができました。地区の皆さんにお願いして、生徒会としてもお菓子を投げさせてもらいました。四十年以上前、私は一人の児童として、同じ場所に立っていたと思います。大きな声でお菓子を求めていたのです。五十五才になつた私が同じようにここに立っているなどと、想像したことはありませんでした。これからもずっと故郷の伝統や文化を大事にして、いつか必ず、ここに戻つて欲しい！強く強く、中学生の皆さんに願います。地域の皆さん、参加させて頂きださつて、本当にありがとうございます。

上浦サミット

一年間の総合的な学習の成果を発表する「中学生上浦サミット」が一月二十四日、中央公民館にて実施されました。高齢者大学の受講生の皆さんをはじめ、たくさんの方々に来て頂きました。ありがとうございます。子どもたちは、地域の歴史、人物、食や観光、福祉や過疎対策について、一年間学び、対策案を提言しました。来年はそれらの中から一つ二つを、具体的に実行し、実現していく取り組みにチャレンジし、また、成果を発表します。どうか、たくさんの方々に、来て頂きたいと思えます。「もつと周知徹底、広報をしっかりと！」とご意見をいただきました。工夫をしていきます。

子どもたちが地域の将来について考え、提言するのは、絵空事のように写るかもしれません。ですが、私は感動していました。「じいちゃん、ばあちゃん、お父さん、お母さん、今までありがとう、これから親孝行をするよ！」つて言っている子どもの姿に見えたからです。



社会を明るくする標柱

佐伯市の保護区保護司会の方々が、来校して中学校から三作品、小学校から一作品の標柱を記した標柱を設置してくださいました。本校からは三年森君、緒方さん、二年生野崎さんの作品が選ばれました。アルミ製の立派な標柱で、永遠に「人権を守り社会を明るくする」願いが見る方々へと発信されそうです。

助けたい思ったことは行動に（野崎さん）
育てよういじ芽じゃなくて笑顔の芽（緒方さん）
挨拶でひろがるつながる地域の輪（森君）



愛犬に感謝

三年前まで単身赴任していたこともあり、朝早すぎることもあるのか、私は一人で朝食を摂ります。一人出勤する私を、愛犬は必ず見送りにでてくれます。散歩の時はいち早く、玄関先の扉のところで待っている愛犬ですが、見送りの時は、私の後をトボトボついてきて、少し離れたところから見送ってくれます。「行ってくると近所に聞こえないよう、小さな声でささやきます。